

令和7年度

新町小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

学力向上 : 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
 外国語教育 : コミュニケーション能力や人と関わる力の育成に視点を当てた授業づくりの推進

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 委員
 藤本 賢春 野村 敏之 川本 沙知

校長 林 哲史

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられたことに素直に取り組む。 ○まじめに課題に取り組む。 ●語彙が少ない。 ●読む・書く・話す経験が不足している。 ●聞いて考える力が十分に身につけていない。	読む・書く・話す・聞く力を身につけ、自信を持って活動に取り組むことができる。	・低・中・高学年用の聞き方、話し方のスキルを教室前面に掲示する。 ・低・中・高学年用の話型や文型を提示する。 ・めあてを明確にする。 ・授業で読む・書く・話す時間を十分にとる。 ・振り返りの時間をとる。 ・辞書やICT機器の活用を促す。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○友達や低学年の子どもに優しく、協力して取り組む。 ○あいさつができて、社交的。 ●自信がなく、自分の言葉で考えを伝えることが苦手。	・課題と向き合い、自ら考え解決し、学習内容を深めることができる。 ・一人で課題を解決できなくても、友達から学び、共に学習内容を深め合うことができる。	・スモールステップで取り組めるようにする。 ・少人数グループで伝え合う力を育成する。 ・相手意識を持って、考えたことや自分の意見を発表する場をつくる。 ・友達の意見に対する感想や意見を持ち、発表して考えを深められるようにする。 ・学習内容に迫るような問い返しが、児童間においてもできるように指導する。 ・辞書やICT機器の活用を促す。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分のすべきことに、まじめに一生懸命取り組む。 ●失敗をするとやる気をなくし、決められたこと以上をやってみようとする児童が一定数いる。 ●学習のルールや、基本的な生活習慣(時間を守るなど)が身に付いていない児童が一定数いる。	・何事にも前向きに挑戦し、ねばり強く取り組むことができる。 ・基本的な生活習慣と学習態度を身につける。	・次の授業の学習準備を整えさせてから、休み時間に入るよう徹底する。 ・チャイムと同時に学習を始める。 ・達成できる目標を積み重ねて、自己有用感を高める。(ポイントなどで可視化する) ・学級の中で友達の良さを認め合い、高め合う学級づくりをする。 ・苦手なことにも友達と一緒に挑戦できる場を設定し、がんばった過程を褒める。			

令和7年度 学力向上ロードマップ

